

報道関係者各位

2021年7月27日

福井コンピュータアーキテクト株式会社

鴻池組と福井コンピュータアーキテクト 生産性向上に向けた戦略的パートナーシップを締結

～生産プロセスの実践に即したシステム構築により建築分野における生産性 20%向上の実現を目指す～

株式会社鴻池組（本社：大阪市 代表取締役社長：渡津 弘己）と福井コンピュータアーキテクト株式会社（本社：福井県坂井市、代表取締役社長：佐藤 浩一）は、「建設業の働き方改革」と「建築物の設計・施工・維持管理に係る生産性向上」に関するビジョンを共有し、創業から150年にわたって培われた鴻池組の高い技術力と、福井コンピュータアーキテクトの純国産 BIM システムに裏付けされた開発力を掛け合わせ、生産プロセスの実践に即したシステム構築により建築分野における生産性向上を達成するために、戦略的パートナーシップを締結しました。

両社は、この戦略的パートナーシップを、鴻池組の業務改善や福井コンピュータグループの製品改良の枠を超え、ICT活用による、日本の建築分野における生産性革命の実現に資する取組と位置付けております。

本パートナーシップによる主な取り組みは以下の通りです。

- 設計・積算・施工・維持管理、それぞれのプロセスにおいて、テーマを設定した共同プロジェクトを立ち上げる。
- 福井コンピュータグループは、福井コンピュータアーキテクトの BIM システム「GLOOBE」を始めとする同グループの製品・サービス等を共同プロジェクトに提供し、共同プロジェクトはこれを活用してシステム構築の研究を行う。
- 共同プロジェクトによる検証結果を分析し、システム構築の効果と課題を検証する。
- 上記検証を元に、建築分野における生産性向上を達成するシステムとなるよう製品の改良を行う。

両社は、このパートナーシップによって、本パートナーシップ契約目的の達成とともに、日本の建設業向けに最適化された、BIM を中核とした ICT 活用による建築分野における生産性向上と働き方改革の実現に、大きく貢献できると確信しています。

株式会社鴻池組について

2021年に創業150周年を迎えた。ICT/BIM への取り組みでは、「ICT 推進課」を2017年に開設し、BIM とさまざまな ICT 技術とを組み合わせ、現場での活用検証を進めている。ICT/BIM の連携により活用の幅を広げることで、さらなる生産性の向上を目指している。

福井コンピュータアーキテクト株式会社について

創業初期から主力で開発してきた「ARCHITREND」シリーズは、既に BIM の概念を持つ CAD として住宅業界で広く使われています。このノウハウを活かし、2009年に日本発 BIM 建築設計システム「GLOOBE」をリリースし、現在は施工分野への BIM を本格展開しています。日本独自の建築手法に対応したシステムとして注目されております。

【本件に関するお問合せ】 福井コンピュータアーキテクト株式会社 BIM 事業部 担当：石井

福井県坂井市丸岡町磯部福庄 5-6 HP：https://archi.fukuicompu.co.jp/

Tel：0776-67-8850 問い合わせフォーム：https://hd.fukuicompu.co.jp/form/form.php?form_id=709